

令和5年度 病害虫防除情報

令和5年6月29日

発表：福島県病害虫防除所

リンゴ褐斑病の新梢葉での発病が増加しています。二次感染を防ぐため、散布間隔が空かないように注意しながら、降雨前の薬剤散布に努めましょう。

- 1 対象作物：リンゴ
- 2 病害虫：リンゴ褐斑病
- 3 対象地域：全域

発生状況等

- (1) 昨年秋期の発生量は、平年よりやや多い状況でした（図1）。
- (2) 6月中旬の発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図2、写真1）。
- (3) 天候予報（仙台管区气象台 令和5年6月22日発表）によると、向こう1か月の降水量が平年より多い確率は、40%と予想されています。

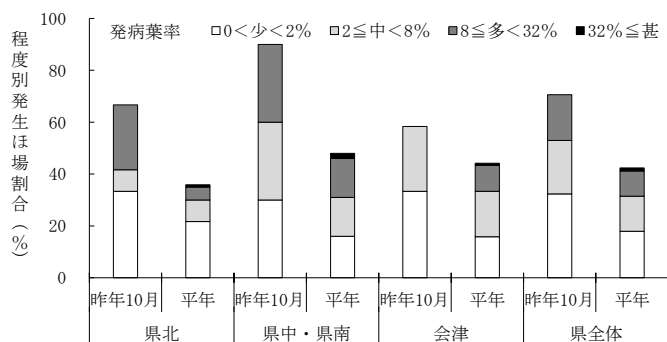


図1 昨年（令和4年）秋期の新梢葉におけるリンゴ褐斑病の発生状況（昨年10月）

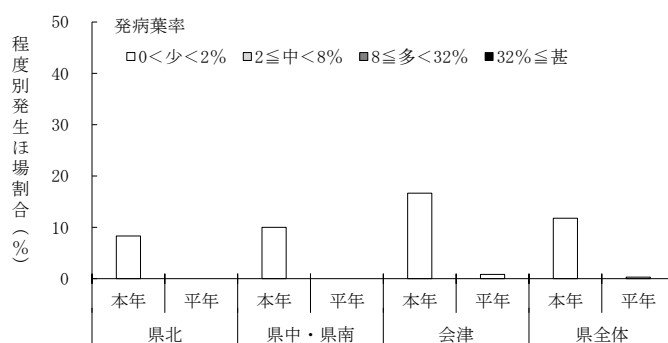


図2 新梢葉におけるリンゴ褐斑病の発生状況（本年6月中旬）

防除対策

- (1) 昨年秋期の発生状況から、本病原菌の越冬量は多かったと推測されます。梅雨期は本病の二次感染期にあたり、今後の気象経過によっては、多発するおそれがあります。地域の防除暦を参考に農薬使用基準を遵守し、散布間隔が空かないように注意しながら、降雨前の薬剤散布を実施しましょう。また、薬剤は十分な量を散布してください。
- (2) 薬剤の散布ムラをなくすため、薬剤散布前に徒長枝の整理などの新梢管理を行いましょう。



写真1 リンゴ褐斑病発病葉
（令和5年6月13日撮影）

● 情報内容への質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）まで御連絡ください。本情報は、病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）でもご覧になれます。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727